



LGBTQ 教育セミナー（ウェビナー）：開催概要報告

バルブ女史ネットワークでは、多様性の理解を広げる取り組みとして、LGBTQ 当事者の方から直接お話をお伺いし、周囲の方に対する考え方、接し方、言葉使い等を考える「きっかけづくり」の場となるセミナーを開催しました。

バルブ女史ネットワーク主催：LGBTQ 教育セミナー

～多様性への理解を広げよう！ LGBTQ 当事者の方との対話～

開催日時：2024年9月10日（火）14：00～16：00

開催形式：zoom ウェビナー

講師：NPO 法人 ASTA <https://asta.themedia.jp/>

- 次第：1) 14:00～14:05 開会挨拶
2) 14:05～14:40 基礎知識 (講師 1 : 35 分)
3) 14:40～14:50 ライフストーリー (講師 2 : 10 分) ※1
4) 14:50～15:00 ライフストーリー (講師 3 : 10 分) ※2
5) 15:00～15:10 ライフストーリー (講師 4 : 10 分) ※3
6) 15:10～15:25 ～休憩 (15 分) ～
7) 15:25～15:45 質疑応答 (20 分程度)

※1～3：ライフストーリーは LGBTQ 当事者の方からご自身の経験を語っていただいた。

参加者：72 名 (17 社)



セミナー前半では、LGBTQ に関する基礎知識について学び、後半では、LGBTQ 当事者 3 名（同性愛者、トランスジェンダー、LGBTQ 当事者の親の方）から、ご自身の体験談を語っていただき、当事者の方々の辛さや悩み、課題などをリアルに感じることができました。

自分の当たり前が他人の当たり前ではないということを理解し、会員各社が「誰もが働きやすい会社環境づくり」について考えていただければ幸いです。

セミナー後には、次のとおり質疑応答がありました。

～LGBTQ 当事者の方々への質問および回答～

Q1: 会社や会社の制度や教育設備などで求めることは何かありますか?

A: LGBTQ の問題には正解はなく、本人の性格や環境によって異なります。学校では生徒が自分で選択できる選択肢を増やすことが重要です。企業では同性パートナーを含む「ライフパートナー」という表現を使うなど、誰もが使いやすい環境を整備することが求められます。

Q2: LGBTQ に配慮していることは、会社選びの条件になりますか。また選びやすい職種はありますか?

A: 就職活動の際、LGBTQ への配慮がある企業を選びました。制服が男女で分かれていない職種を選んだ例もあります。ホームページで LGBTQ への取り組みを事前に確認し、面接で質問することができる企業を選ぶとよいと思います。職種選びについては、人それぞれだと思います。

Q3: 周囲に正しく理解してもらうためには何が有効だと思いますか?

A: 情報を得ることが重要です。テレビや新聞の記事を見て理解が進むこともあります。職場でこの研修を受けたことを話題にし、理解を広げていくこともできると思います。LGBTQ の人がいるのは当たり前という認識を子供の頃から持つことが大切です。

Q4: カミングアウトを受けた方に寄り添うアライの活動があれば教えてください。

A: 態度を変えず、差別的な発言を止めることが大切だと思います。言葉のセンスを磨き、あらゆる違いを持つ属性の人々がいる事を意識した言葉使いを心掛けてほしいです。プライドパレード(性の多様性を祝福するイベント)に参加し、支援の姿勢を示すことも有効です。

Q5: 日本で同性婚が認められる法律がまだ成立していないのはなぜでしょうか?

A: 国民の世論調査では 7-8 割が賛成しています。現在(2024 年 9 月時点)5 か所で同性婚を求める裁判が行われており、最高裁で違憲判決が出れば法制化が進む可能性があります。

Q6: 「好きな人はいる?」という質問に関して、アセクシュアル(恋愛感情はあるが性的行為を求めない)、アロマンティック(他人への恋愛感情を持たない)の方に対する性差別的な意味合いも含んでしまうのではないかと思うのですが。

A: 人によって様々です。「恋愛の話に興味がない人」「恋愛ドラマのように興味を持って聞く人」など様々な人がいる事を知っておきましょう。

以上